

2017年7月2日

長期申請書 付属資料

下記4点は、アプリケーションフォーム説明のための補足資料です。
必要に応じてオリエンテーションにてご利用ください。

- 健康診断および予防接種の解説
- 追加で接種が必要な予防接種の確認について
- 両親からの書簡文例
- 在籍学校に作成していただく書類

健康診断および予防接種の解説

《健康診断書》

申請書の健康診断書は、自分の健康状態に関する情報を派遣先のホストクラブやホストファミリーに知ってもらうために作成します。特に持病がなければ問題ありませんが、持病がある場合は、主治医の先生に詳しい診断書や処方歴について書いて頂きましょう。

その際、病歴や診断名は英語で記載して頂き、薬剤名は、商品名ではなく一般名を英語で記入してもらってください。

近年、障害者や疾病を持つ学生の交換事業への参加を国際ロータリーは推奨していますが、ホストクラブやホストファミリーに理解してもらわなければ、受け入れてもらうのは難しいのが現状です。

～例えば～

1. アレルギーがある場合は、原因物質も含めて書いてもらい、アナフィラキシーショックになったことがあるか、アナフィラキシーショックになったことがあれば、なった時の対処法(例えばエピペンを使用することがあるかどうか)についても書いて頂けると参考になります。
2. てんかん発作がある場合は、薬物治療で何年間か落ち着いている旨をはっきりと書いて頂かないと、受け入れ拒否につながる場合があります。
3. 日本から薬を送る場合、派遣先の国で問題がないかの確認も必要です。海外で薬を処方された場合、海外の薬の用量は一般に日本よりも多量のことが多いので、用量を減らすなど、副作用対策に注意が必要です。それ以外には、薬剤の値段の問題もあります。例えば、先ほどのアナフィラキシーショックで使用するエピペンは日本で保険診療を通じて処方された場合は診察料込みでも 4,000 円ほどですが、アメリカでは 60,000 円ほどするという事です。日本から薬を手荷物で持ち込む場合は、英語の説明文が必要で、それでも持ち込みを拒否される場合もあるようです。また郵便で送る場合は、日本郵便の下記サイトで各国郵便条件をご確認の上発送するようにしてください。

<https://www.post.japanpost.jp/cgi-kokusai/p05-00.htm>

<https://www.post.japanpost.jp/int/download/index.html#jyouken>

《予防接種》

1. 各国の小児予防接種

世界各国の小児予防接種には、日本の小児予防接種に含まれていなかったり、接種回数が異なっている項目が多々あります。過去に実施した予防接種又は罹患歴が証明できない場合や、自国以外で行われた予防接種は認めないという極端な例もあり、全てが再接種されることも時には起こっています。風疹等に関しては医師の罹患証明書でも無効であり、血液中の抗体価の記載が要求される場合もあります。これを防ぐには、母子手帳や予防接種記録(医師が作成した予防接種及び罹患証明書及び血中抗体価検査結果)等の証明書を作成しておく必要があります。

予防接種や医療事情に関して、以下のホームページを参照ください。

- 日本小児科医会国際部のHomepage (<http://www.jpaiic.net/vaccination.html>)
- WHOのHomepage (http://apps.who.int/immunization_monitoring/globalsummary/countries)
- 外務省ホームページ:
(<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html>) 海外安全対策:世界の医療事情
(<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/vaccine/>) 各国・地のワクチン接種医療機関
(<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/>) 世界の医療事情
- 厚生労働省検疫所(<http://www.forth.go.jp/useful/vaccination.html>)
- 在ニューヨーク日本国領事館 (<http://www.ny.us.emb-japan.go.jp/jp/g/02.html>)

これらのホームページには、国別の予防接種がどうなっているかの一覧表もありますので参考にしてください。アプリケーションフォーム内の予防接種欄の予防接種は、一般的に必要なものを記載してありますが(その病気にかかったことがあれば、予防接種は不要ですが、かかった事実の記載が必要です)

※派遣国によって行うべき予防接種の中身や回数は異なりますので、必ず派遣国が決まったら学生本人、学生の保護者、スポンサークラブの青少年交換担当者は派遣先の予防接種について確認をしてください。

予防接種で特に注意すべきは、接種の回数とそれに要する期間です。例えば、A型・B型肝炎では、最終的な接種が終了するまで半年かかります。出発までの時間を考え、適宜予防接種を受けるスケジュールを立ててください。また、予防接種の中には日本で定期接種に含まれないものがあります。例えば、黄熱病ワクチンはアフリカや南アメリカの一部の地域に行く場合に接種が求められるので、対象地区に派遣される場合には早めに予防接種を受けるなどの対応をお願いします。また、髄膜炎菌はアフリカ中部で流行している病気ですが、北米やヨーロッパではワクチン接種が求められる可能性があります。日本では、平成26年に認可され平成27年5月から接種可能となっています。

《結核》

2. ツベルクリン反応(PPD)

日本では、小児予防接種の一環としてBCG接種が行われています。2005年の法改定により、接種時期は生後6ヶ月未満(生後3ヶ月以降が推奨されている)の1回となり、以前はツベルクリン皮内反応検査を行って陰性者にBCG接種を行っていましたが、今は、ツベルクリン反応の検査なしでBCG接種します。ちなみに、日本は結核の中蔓延国なのでBCGを行います。低蔓延国のアメリカ、オーストラリア、ヨーロッパの国々では、BCGを接種する国はなく、英国、カナダ、フランス、スウェーデン等はハイリスクの子供のみBCGの接種を受けます。

米国等の結核低蔓延国では、ツベルクリン反応陽性者はすなわち結核感染者として取り扱われます。結核発症が確認された場合は治療を受けることとなりますが、そうでない場合でも未発症(結核菌に感染したが、まだ発症していない状態)として抗結核剤による予防内服を受けることとなります。陽性と陰性ではこれだけ大きく取り扱いが異なります。それ故、日本人でツベルクリン反応が陽性となった場合、結核感染の結果陽転したのか、それとも過去のBCG接種による陽転か区別しなければなりません。

ツベルクリン反応陽性者は、一般的に胸部X線写真にて結核感染の有無を確認するのがこれまでのやり方でした。胸部レントゲン写真が正常であれば問題はなしとしています。出発前に胸部X線写真撮影を受け正常の診断を受けた人は、異常がなかった旨の証明書を作成してもらいます。

さて最近の結核検査には、免疫学的検査法として開発されたインターフェロン γ 遊離試験(IGRA)があります。一つはクオンティフェロンTB(QFT)ゴールド、もう一つがT-SPOTテストです。これらは、BCGや非結核性抗酸菌感染の影響を受けずに結核の診断を行うことが可能です。IGRAのいずれかの検査を行えば、ツベルクリン反応からレントゲン検査という手順を踏むことなく結核の診断が可能です。検査料金は高いのですが、一回の採血で済むことを考慮して利用して頂きたいと思います。

それぞれの診療報酬を基礎として算出したおおよその料金は次のようになります。

ツベルクリン検査の場合

- ① 初診
- ② 再診 ツベルクリン接種
- ③ 再診 ツベルクリン判定
陽性なら胸部レントゲン写真
陰性なら正常
胸部レントゲン写真で陰影が認められた場合は精密検査へ
約 8,500 円～

インターフェロン γ 遊離試験(IGRA)

QFTゴールド、T-SPOTテストの場合

- ① 初診 採血
- ② 再診 判定
約 12,000 円

3. 入学時の予防接種証明書

米国の場合、学校への入学・編入時には、州で規定された予防接種やツベルクリン反応検査が義務付けられています。幼稚園から大学・大学院はもとより、サマーキャンプへの参加等にも予防接種証明書の提出を要求されることがあります。成人に対しても、破傷風・ジフテリアトキソイドの追加接種、風疹の追加接種が要求されていることが多いようです。

これまでの予防接種記録・証明書を当地の医療機関に持参し、不足分の接種を受け、学校からの予防接種証明書への記入または新規に証明書を作成してもらうこととなります。学校によっては州登録の医師を指定しているところもあります。この証明書がないと入学を許可されなかったり、各種行事に参加できない場合もあります。

※ 派遣学生も例外ではありません。アメリカ派遣と決まったら派遣先の地区の担当者へ必要な予防接種について確認をしてください。

追加で接種が必要な予防接種の確認について

1. アプリケーション送付後に、派遣先担当から受入学校へ必要予防接種を確認してもらう。必要に応じて、受入学校の School Nurse へ直接連絡し確認をする。
2. 必要接種が終わったら、Section C – Appendix C1 (Medical history and Immunization)に追加記入をしてもらい、再度、サインと日付を入れてもらい派遣先へ再提出をする。(原本は持参)

例①(アメリカ ネブラスカ州)

Medical Immunizations

●●● (学生名)

Explanation

In Bold Black type are the requirements for the Nebraska State School District. Students must have these vaccinations in order to enter school.

In Red is the Physician's review and what is needed before ●●● can enter school. Please have the application reviewed to see if these immunizations have been received or have the student get these immunizations. It appears that ●●● may have all or nearly all of the immunizations but the information is not totally clear. An email verifying the information should work in that case.

- **Diphtheria, Tetanus, and Pertussis:** 3 doses of DTaP, DTP, DT, or Td vaccine, one given on or after the 4th birthday;
- Tdap (had Td, but not pertussis April 21, 2012), also should have other doses of DTaP/ DTP/DT listed assuming they were given (has different dates listed in March/April/May 2000 and Aug. 20, 2001, so likely had the 3 as an infant but seems like they may have been confused on the form)
- Please clarify
- **Polio:** 3 doses of Polio vaccine;
-
- **Hepatitis B:** 3 doses of pediatric Hepatitis B vaccine or 2 doses of adolescent vaccine if student is 11-15 years of age.
- 3rd Hepatitis B, but looks like they'll be giving one on April 2016 in the additional comments section
- **Measles, Mumps, and Rubella:** 2 doses of MMR or MMRV, given on or after 12 months and separated by at least one month;
- 2nd MMR unless they filled it out wrong, 2 dates listed for Rubella/Measles (June 9, 2012) and Mumps (May 7, 2003) so might have had 2. May need to go back to the original documents.
- Please clarify
- **Chicken Pox:**
- Had in 2004

2 doses of varicella (chickenpox) or MMRV given on or after 12 months of age. Written documentation (including year) of varicella disease from parent, guardian, or health care provider will be accepted. If the child has had varicella disease, they do not need any varicella shots.

例②(アメリカ オハイオ州)

Immunization Summary for School Attendance Ohio

VACCINES	FALL 2015 IMMUNIZATIONS FOR SCHOOL ATTENDANCE
DTaP/DT Tdap/Td Diphtheria, Tetanus, Pertussis	Grades 1-12 Four (4) or more of DTaP or DT, or any combination. Three doses of Td or a combination of Td and Tdap is the minimum acceptable for children age seven (7) and up. Grades 7-12 One (1) dose of Tdap vaccine must be administered prior to entry.**
POLIO	Grades 6-12 Three (3) or more doses of IPV or OPV. If the third dose of either series was received prior to the fourth birthday, a fourth (4) dose is required; If a combination of OPV and IPV was received, four (4) doses of either vaccine are required.
MMR Measles, Mumps, Rubella	K-12 Two (2) doses of MMR. Dose 1 must be administered on or after the first birthday. The second dose must be administered at least 28 days after dose 1.
HEP B Hepatitis B	K-12 Three (3) doses of Hepatitis B. The second dose must be administered at least 28 days after the first dose. The third dose must be given at least 16 weeks after the first dose and at least 8 weeks after the second dose.
Varicella (Chickenpox)	Grade 6-9 One (1) dose of varicella vaccine must be administered on or after the first birthday.

《両親からの書簡文例》

以下の質問に答えながら、お子さんの受入クラブおよびホストファミリーに宛てて書簡を作成してください。作成にあたっては外国人の親子観を考慮した文面となるよう、文例を参考にしてください。

※お子さんのアレルギーや病気についてコメントすることがあれば記入してください。

※出来上がった文章はできるだけ、ネイティブの方にチェックをしてもらってください。

Dear Host RC and Family 【共通自己紹介文例】

I'm ○○ (親の名前) , ○○ (子供の名前) 's father(or mother). It's my great pleasure to have an opportunity to introduce my daughter to you in this letter by answering the following questions.

1. How is your child's relationship with you and your family? with his/her friends?

(お子さんと両親および家族との関係はどのようなものですか。またお子さんの友人関係はどうですか。)

1)She has a good relationship with us and with her sister. When we have spare time, we play various board games, watch movies and TV. She also enjoys taking care of her little cousins and playing with them. She has many friends at school, so she has a good time there.

2)She has a younger brother aged 14 years old. She is kind to him but sometimes they quarrel as most brothers and sisters do.

She loves her family members. We travel to famous places during long vacations. We go skiing in winter and swimming in summer.

She is kind to everyone and nobody speaks ill of her. She goes to school with her friend every morning. Many of her friends want to go amusement parks and concerts with her. She works hard at extracurricular activities (afterschool club at school).

3) Excellent. My daughter often asks me for homework advice. She often gives me advice on my fashion styles. She enjoys talking a lot with family members every day, typically about her new favorite music and artists, about her friends and about events at school. She goes shopping with other family members pretty often to have fun.

2. How does your child react to disagreement, discipline, and frustration?

(お子さんは、意見の相違、規律、不満に対してどのように反応しますか。)

1)If she has any complaints about the discipline, she tells us about it. Then she explains her thoughts on the matter so we can understand how she feels. Even if she doesn't get her wish, she'll respect the discussion.

2) My daughter is moderately assertive— that in most cases she can deal with disagreements in a decent way. She is very good at explaining her opinion logically, which sometimes clarifies misunderstandings. Also, she understands it is usually better to come to a reasonable compromise in real life. Her character would be nearly ideal if she learned a way to handle unavoidable frustration.

3. How does your child handle challenging or difficult situations?

(努力を必要とする、または困難な状況にお子さんはどのように対応しますか。)

1) She is optimistic about everything. With that she will work hard with a positive mindset.

2)We believe that she understands what she should do.

3) My daughter usually makes every effort to find the best approach when facing confrontation. She is also good at asking experts for assistance. For instance, when she became in charge of costumes for the group dance event at school, she organized a special team to study how to design and sew costumes on the internet, then sketched her costume design, and made the pattern. Finally, she sewed several sets of costumes using her mother's sewing machine for hours and hours, day and night.

4. What amount of independence do you give to your child? What is your child's level of maturity?(お子さんにどの程度の主体性をもたせていますか。お子さんは成熟度どの程度ですか。)

1) We do not force her do anything. Once she became a high school student, she mostly decides for herself what she does.

2) She has her own room and cell phone, but is not permitted to use social network services.

As already mentioned in answering other questions, she may ask somebody to do everything for her. She

seldom cooks or does house chores. She may act like an immature child at times. She often relies on others when she should be more independent.

- 3) As her parents, we'd like to see what she is going to do in her future, but we think she acts her age.
- 4) My daughter seems much more mentally mature than typical girls her age. When she was young, I strictly regulated her lifestyle; the way she uses her money, for example, but now I encourage her to make decisions for herself. At age 16 she traveled all the way to Osaka (170 miles away) for sightseeing with a friend of hers. Recently she took a long distance overnight bus to visit Tokyo Disneyland with a few friends of hers. Both started as a proposal from her and I allowed her to do them.

5. What makes you proud of your child? (お子さんについて誇りに思うことは何ですか。)

- 1) We love her smile. She always has a smile on her face, so we feel happy when she is. We are proud of her cheerful personality.
- 2) She is honest and kind to everyone. She always thinks about family members, not only us but also her grandparents. She has long talks with them by phone.
- 3) We are proud of her cheerful character.

- 4) I'm proud of my daughter 's creativity and ability to absorb many new things. She has been creative since her infancy. I still remember her amazing woodblock buildings and artworks. At age 9 she wanted to talk to a close friend of hers at any time so she made an FM transmitter, doing soldering by herself. She has learned a lot of things with passion: swimming, Japanese calligraphy, piano, clarinet, singing, and English conversation in addition to the normal school education. Furthermore, she has taught herself to ride a unicycle, play the guitar and sewing. No wonder she is now interested in fashion design -- a collection of various skills, plus creativity.

6. Why do you want your child to be an exchange student?

(お子さんに交換に参加してほしいと思う理由は何ですか。)

- 1) First of all, because she wanted to be an exchange student. We would like to support what she wants to do. And we want her to know the wide world, we think she has grown enough mentally to do that.
- 2) She is good at speaking English and wants to get a job where she can work all over the world. We want her to experience other cultures and languages while she is young. This is what I had dreamed of when I was young.
- 3) We understand that customs are different in every culture. We'd like to make her experience a country we don't know and become more conscious of her own cultural identity.

- 4) Because the experience of being an exchange student will widen my daughter 's way of thinking and will prepare her for a working career in future. It was almost three years ago that my daughter said for the first time that someday she would go to the U.S. alone to work there. I was not surprised, I was just so happy to hear that because it was a clear sign that she was already mature and independent and that she had the extraordinary bravery necessary to stay abroad alone at her age. I was so proud of her. Since then she has been keeping that desire in mind. Being an exchange student is therefore her ideal first step in realizing her dream. I'm convinced that her stay will establish a solid basis for her entire life, not to mention her working career.

7. Are there any other comments you would like to share with the host families?

(ホストファミリーに伝えておきたいその他のコメントはありますか。)

- 1) I appreciate your kindness in becoming host families for her. She likes to chat, so please talk to her a lot. This way she will enjoy her life with you.
- 2) She has been raised as a princess until now. She may not be patient at first. But we hope she will overcome these difficulties with your help. Please speak to her frankly. We would like you to feel as if you were her second family. Thank you very much.
- 3) I just can't thank you enough for hosting my daughter as an exchange student. I hope the days with her will be interesting, exciting and productive for everybody. Thank you so much.

在籍学校に作成していただく書類

アプリケーションフォームのために在籍校に作成いただくのは下記の3点です。校長先生、担任の先生、英語の先生、どなたに書いていただいてもかまいません。直接、下記指定の送付先へ送ってもらうようにしてください。

- ① Secondary School Personal Reference 4枚
- ② 学校からの英文推薦状 1枚
- ③ 英文成績表(作成者のサインと学校印を押したもの) 1枚

① Secondary School Personal Reference

- ◆ 地区番号、氏名、生年月日、学年、性別を入力したものを印刷し、作成の依頼をする。
- ◆ 作成いただく4枚全ての署名欄に青インクのペンで直筆の署名をしてもらう。
(1枚記入してもらい、3枚コピーを取り、全部で4枚に青インクでサインをしてもらう)

Rotary District 2620 Applicant Name Hanako FUJIYAMA

Rotary Youth Exchange – Long-Term Exchange Program
Section II: Secondary School Personal Reference

Student: Complete the top section of this form, then give the form and a stamped envelope, preaddressed to the Rotary club or district to which you are submitting your application, to a teacher or administrator who knows you and your abilities and accomplishments at school. By so doing, you give permission to that individual to release this information to the Rotary club-district Youth Exchange committee for their review.

Applicant's Full Legal Name Hanako FUJIYAMA	Date of Birth 23/FEB/2002	Grade 2nd	Gender <input type="checkbox"/> Male <input checked="" type="checkbox"/> Female
--	------------------------------	--------------	---

Evaluator: This student is applying for a one-year educational study abroad program under Rotary club-district sponsorship. Please complete and forward this form within seven days of receipt to the sponsor Rotary Club-District, in the preaddressed envelope provided. The information you submit will not be revealed to the student, unless required by law.

5. Ratings

Area	Excellent	Good	Average	Below Average	Not Reason to Rate
Creative, original thought	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Independence, initiative	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Intellectual abilities	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

② 学校からの英文推薦状 (見本参照)

- ◆ 所属学校のレターヘッド(文書フォーマット)を使用して作成をしてもらう。
(学校名、住所、電話番号が明記されたもの)
- ◆ 作成者名、直筆サインをしてもらう。

③ 英文成績表 (見本参照)

- ◆ 英文成績表を作成してもらう。
- ◆ 作成者名、直筆サインをしてもらう。学校印を押してもらう。(学校印は日本語のものでかまいません)
- ◆ 学年の途中ですが、暫定のスコアでかまいません。成績表がないとアプリケーションフォームが完成せず、派遣先へ提出ができませんので、現時点での成績を入れて作成してもらうようお願いしてください。

注意事項!!!

紙は白いA4コピー用紙を使用してくださいとお願いをしてください。
わら半紙での提出は避けてもらうように!

締切: _____ 月 _____ 日までに

送り先: 国際ロータリー第 _____ 地区青少年交換委員会担当 _____ 宛て
住所: _____
電話番号: _____

PDF 書類作成のヒント

アプリケーション作成者向け解説

RIJYEC アプリケーション検討委員会 2017/05 (D2600 若林)

(1) 総説

RIJYEC から提供される青少年交換プログラム申請書（アプリケーションフォームまたはアプリケーション）は PDF 形式で、データの入力をコンピュータ上でフォーム入力することが求められています。アプリケーションの作成は、提供された PDF 書類のフォームにデータを打ち込むことから始まります。PDF 形式はコンピュータの種類を選びません。（Windows, Mac, Ipad, google app 等）

しかし、ソフトやバージョンの違いにより正しい表示がなされなかったり、作成した書類を保存できないような不具合が報告されています。ここでは、Windows と Mac のパソコン（デスクトップ、ラップトップ）での書類作成について解説します。

(2) アプリケーションフォーム（申請書）のダウンロード

1. RIJYEC のホームページ、「各種資料」にアクセスしてください。
<http://rijyec.org/doc.html>
2. 長期または短期プログラム申請書（英文）をダウンロードしてください。
3. 文書は D2600 NAGANO Ichiro のように名前をつけて保存してください。
4. 「日本語版解説付き」及び「作成指導パワーポイント」を必ずみて作成しましょう。
5. 日本語版は正式文書としては認められていませんが、地区によっては提出を義務付けている場合があります。この場合、これはファイル形式が「ワード」ですからマイクロソフト「ワード」または「互換ソフト」を使って作成してください。

(3) 文書フォームにデータを入力、保存する。

Windows、Mac とも必ず「Adobe reader」を使用すること。Mac の Preview 等ではフォームの入力と保存に多くの不具合が報告されています。

(4) 文書に写真を貼り付ける。

◆①Paint (Preview)で写真をクリップボードへコピー

1. デジタル写真を用意します。
2. Windows ではアクセサリの”Paint”を起動します。Mac では Preview を起動します。
3. デジタル写真を Paint または Preview で開きます。
4. 写真の使用する範囲を選択ツールで選択します。
5. 編集メニューから”コピー”します。

◆②Acrobat reader で PDF に写真を貼り付ける。

1. Acrobat reader を開きます。
2. ツールメニュー => その他のツール または ツールバーから「ツール」を選択
3. ツール画面が開きますから、「スタンプ」を選択します。
4. メニューバーで、「クリップボード画像をスタンプとして貼り付け」を選びます。
5. 写真を貼り付ける部位にカーソルを動かします。
6. 写真左上の位置でマウスをクリックし、左下の位置までドラックして画像を貼

り付けます。

7. メニューバーで文書ファイル名をクリックして文書に戻ります。

(5) 文書の写真ページにコメントを入れる。

◆Acrobat reader で

1. ツールメニュー⇒>その他のツールまたはツールバーから「ツール」を選択
2. ツールバーから、「テキスト注釈を追加 (T)」を選択します。
3. 文を入力したい位置にカーソルを動かします。
4. マウスをクリックし、文章をタイプします。

(6) 文書を保存する。

- 入力が一区切りするごとに文章を保存します。
- 文書名は D2600 NAGANO Ichiro のように名前をつけて保存してください。

(7) 文書にサインしてスキャン、PDF で保存する。

- 署名が必要なページでは、署名をするために該当ページを印刷する必要があります。
- 印刷したのちサインをします。サインと日付は青インクを使用して自筆で記入すること。
- サインが終わったページをスキャナーで読み込みます。
- PDF 形式で保存します。
- スキャナーが自宅にない場合、コンビニのマルチコピー機を使用してスキャンすることができます。

➤セブンイレブンマルチコピー機を使ったスキャンの仕方：以下のリンクを参照ください。

➤http://www.sej.co.jp/services/popup/svflow_scan.html

(8) PDF 文書の編集

- (イ) 文書にスキャンしたページを差し込む。
- (ロ) 不要なページを削除する。
- (ハ) ページの順番を変える。

<ソフトの事前準備>

◆Windows の場合

PDF 文書のページを編集する場合には Adobe acrobat 等のソフトウェアが必要になります。Adobe acrobat は非常に高価ですので、ここではフリーソフト CubeSoft の CubePDF Utility をダウンロードして使用します。

■CubePDF Utility をダウンロード、起動する。

1. このリンクにアクセスして CubePDF Utility をダウンロードする。
2. <http://www.cube-soft.jp/cubepdfutility/>
3. CubePDF Utility を起動する。

(イ) スキャンしたページをアプリケーションに差し込む。

1. メニューバー「開く」から「アプリケーション文書」を開く。
 2. メニューバー「開く」から「で差し込む文書」を開く。
 3. 後に開いた「差し込む文書」だけしか見えない場合があります。ウインドウが重なっているために見えなくなっています。ウインドウをマウスでドラッグして動かすと下にアプリケーション文書が見えます。
 4. 差し込む文書のページをアプリケーション文書のウインドウの適切な位置にドラッグします。
 5. 文書を保存します。
- (ロ) ページを削除する。
1. 削除したいページをクリック選択して、メニューバーの”削除”をクリックする。
 2. 文書を保存します。
- (ハ) ページの順番を変える。
1. 移動したいページを選択する。複数の選択はシフト+クリックで選択する。
 2. 選択して色が変わったページをドラッグして移動します。
 3. 文書を保存します。

◆Mac の場合

Mac の場合、標準で付属している **Preview** で上記の機能が使えます。ただし、文書保存の時「ファイルメニューの保存」から保存すると期待する結果が得られない場合があります。Mac の場合、全ての入力が完成してからページ編集作業を行うのが良いでしょう。

1. **Preview** でアプリケーション文書と差し込み文書を開く。
 1. **Finder** 上で、完成したアプリケーションのファイルを選択する。
 2. 右クリックで「このアプリケーションで開く」から「**Preview**」を選択する。
2. それぞれのウインドウで、表示、サムネールを選択し、サムネールサイドバーを表示させる。
3. サムネールサイドバーの上で、**Windows** と同様な作業を行う。
4. 「ファイル」メニューの「プリント」から「**PDF** で保存」を選択して文書を保存する。

(注意)

この場合フォーム入力機能が停止されるので、以降はフォーム入力ができないことに注意してください。

- (9) 検証が終わったら、送付できる形式で保存して提出する。
アプリケーション文書が完成したらいよいよ提出ですが、これ以降のデータ入力やデータの変更を避けるためにフォーム入力機能を停止するか、セキュリティでロックをかけます。
セキュリティでロックをかけるのには、**Adobe acrobat** 等の標準以外のソフトが必要になるため、**Adobe reader** でフォーム機能を停止する方法を記します。

◆Windows の場合

1. **Acrobat reader** で完成したアプリケーションを開く。
2. 「編集からプリント」を選択する。
3. 「プリンター」プルダウンメニューから「**Microsoft Print to PDF**」を選択する。
4. 「印刷」をクリックする。
5. 印刷結果を保存する場所と名前を求められるので、それぞれ入力し、「保存」を

クリックする。

6. 保存した文書を開いて、フォーム入力禁止になっているか確認する。

◆Mac の場合

1. Finder 上で、完成したアプリケーションのファイルを選択する。
2. 右クリックで「このアプリケーションで開く」から「Preview」を選択する。
3. 「ファイル」メニューの「プリント」から「PDF で保存」を選択して文書を保存する
4. 保存した文書を開いて、フォーム入力禁止になっているか確認する。

(注意)

一度フォーム入力を禁止すると、データの修正が困難になりますから保存の時は「上書き保存」を避け、「名前をつけて保存」するのが良いでしょう。これによりデータの修正を求められた時に対応するのが容易になります。

(10) その他

- 書類の作成、入力は交換学生自身が行うようにしましょう。入国時や出国時に **Immigration control** で止められて、事情を聞かれる場合があります。そんな時自分で入力しておくと内容を覚えていますから対応が容易になります。同時に交換学生はみなさんの留学のために多くの人々が関わってくれていることを理解実感できるでしょう。
- アプリケーションフォーム作成にあたり、わからないことがあれば遠慮なく地区青少年交換委員会に連絡してください。

(11) 終わりに

ロータリー青少年交換事業に携わるロータリアンは、このプログラムに参加した学生が将来、多様な職業を通じ社会に貢献すること。また多様性を認識し、平和で寛容な社会を作るために貢献することを強く願っています。

笑顔で！！